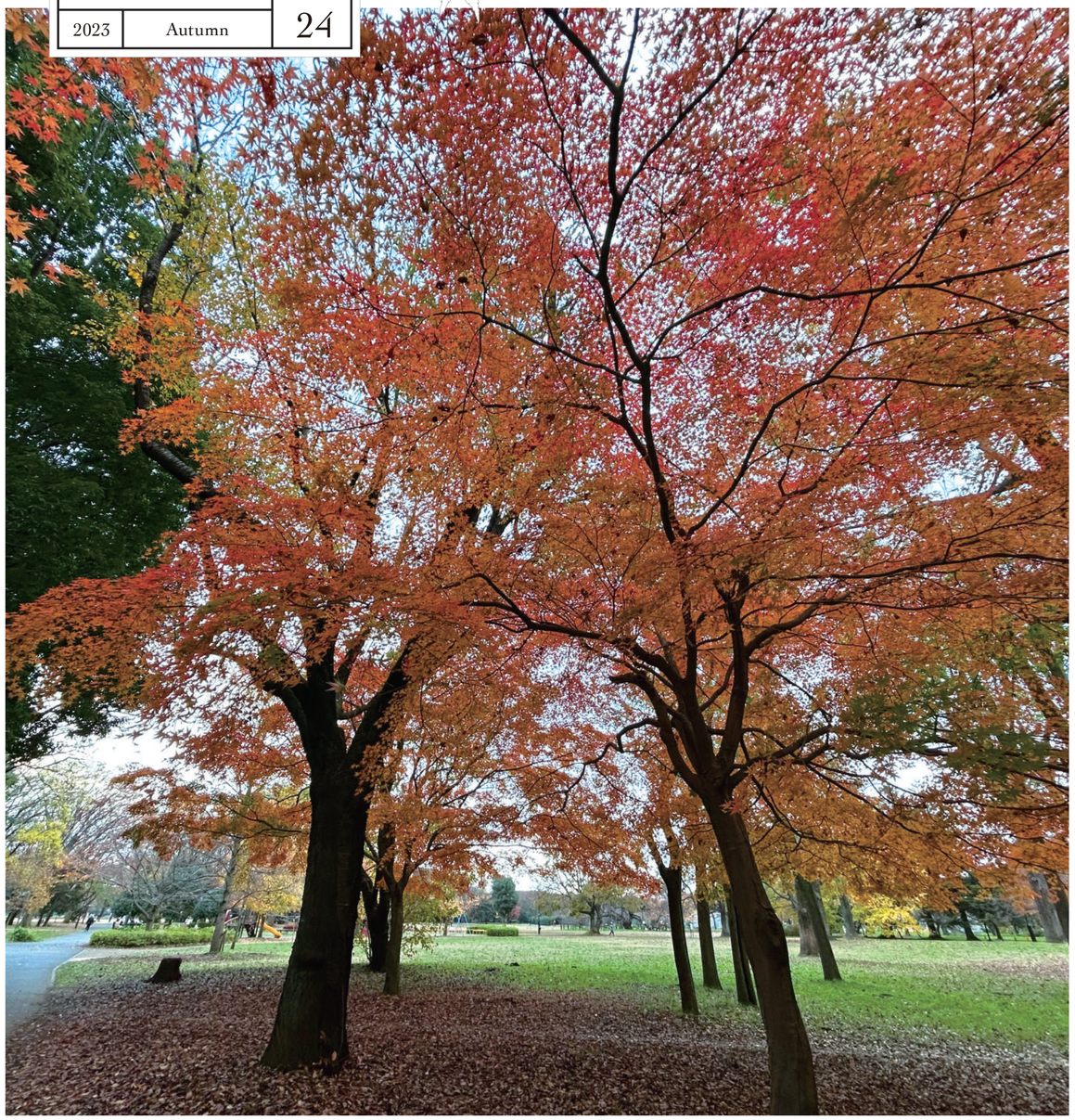
ひばりが丘の街に和を描く
コミュニティメディア

A'ERU アエル

MACHINI-WA HIBARIGAOKA		vol. 24
2023	Autumn	



ようこそ　秋へ

日焼けした肌に
カラッとした空気をまとわせて
次のにわに遊びに行こう

拾いきれないドングリ
かくれんぼしているキノコ
色とりどりの果実
今聞こえたのはモズの声？

冬の支度をしながら
祭りの時をむかえる
葡萄の酒　麦の酒
このよろこびを飲み干そう

INFORMATION

秋はひばりが丘団地で、見る、食べる、体験する、遊ぶ、スポーツする、交流できるイベントが盛りだくさん！

イベント　にわジャム2023 ～つくる・つなげる・ひろげてく～

テーマ：『心躍る楽しさ・体験が広がるひばりが丘の週末』

今年は体験をテーマに、ワークショップ、プレイコーナー、ハロウィンスタンプラリー、飲食ブース、キッチンカー、物販、ギャラリーなどが盛りだくさん！
詳しくは、QRコードをチェック！

▲詳しい情報はこちらから

日時：**10月29日(日)　11:00～16:00**（雨天中止）

会場：ひばりテラス118、ひばりが丘東けやき公園（東久留米市ひばりが丘団地7）
ひばりが丘西けやき公園（東京都西東京市ひばりが丘3-4-1）

主催：一般社団法人まちにわ ひばりが丘

イベント　ひばりが丘団地 秋まつり

テーマ：『集まれば笑顔、食べれば元気』

日時：**10月28日(土)　11:00～16:00**（雨天10/29に延期）

内容：飲食、物販、催し物 等

場所：たんぽぽ広場　　主催：秋まつり実行委員会

イベント　Reuseテラス

日時：**11月3日(金)　10:00～16:00**（予定）

内容：ベビー・子ども用品交換会、大きな紙に皆で絵を描こう！
その他写真撮影会などを予定
※内容は変更になる可能性があります。

主催：Reuseテラス実行委員会

会場：ひばりテラス118

スポーツ　ひばリンピック大会

主催：ひばリンピック大会事務局

【地域運動会】

小さなお子さん～シニアまで、多世代で楽しめる運動会競技に参加、応援しよう。その他、飲食ブースも！

日時：**11月25日(土)　10:00～15:00**

場所：たんぽぽ広場

申込：不要(当日集まった人で楽しむ)。競技への参加は完全無料。

【リレーマラソン】

昨年に引き続き、今年も開催！ひばりが丘団地周辺1周1.56kmのコースを10周の襷リレーでつなごう！

日時：**11月26日(日)　9:00～12:00**

参加費：成人1,500円、未成年無料

申込：ひばリンピック大会HPより事前エントリー

▲エントリーはこちらから

MACHINI-WA HIBARIGAOKA

発行元：一般社団法人まちにわ ひばりが丘
デザイン：佐藤洋平
写真：渡辺高志（表紙）
鈴木暁子（P2、P3／AERUライター）
問合せ：info@machiniwa-hibari.org
WEB：https://machiniwa-hibari.org/
発行日：2023年10月5日

メールマガジン無料配信中！
ご登録はこちらから

「まちにわ　ひばりが丘」の情報や、イベント情報などをお送りしています。左のQRコードから登録、または、件名を「メールマガジン登録希望」としてinfo@machiniwa-hibari.orgまでご連絡ください。

お問い合わせは
以下ご連絡先まで
Tel：042-452-5758
Mail：info@machiniwa-hibari.org

ひばりが丘の街で人を訪ねる

ÁERU PEOPLE

地域コミュニティーで期待されるお父さんの力 子育て世代の連携が作る活動の秘訣とは？

今年3月に「イオンモール東久留米」で開かれた「親子防災フェス」。東久留米市立第五小、西東京市立中原小が作るお父さんたちの集まりが実行委員となり企画されたイベントでした。まちにわ ひばりが丘（以下まちにわ）も運営に参加し、地域防災への意識を広めるお手伝いをしました。その活動の中心になった「お父さんの会」「父親の会」の代表者をお招きして、どのような組織になっているのか、地域コミュニティー活動での役割や、これからの目指す活動についてお話をききました。

東久留米市立第五小学校
お父さんの会（おとうさんのかい）
さかきばら じゅんいち
榊原 淳一 さん
保育園（幼稚園）に通うお子さんと小学校4年生のお父さん

西東京市立中原小学校
父親の会（おやじのかい）
おおたに ひろゆき
大谷 洋行 さん
3人のお子さんのお父さん（上は高校2年生）

同じ父親という立場で、組織運営に縛られすぎない自発的な活動が原動力となる

―それぞれの会について教えてください

榊原さん（以下敬称略） 五小は「お父さんの会」という名称で活動しています。PTAの規則に従いその中で活動するクラブという位置づけですね。会員は現在29名です。すでに10年くらい活動していますが、作られた経緯というのはよくわからないところがあります。やりたい人が参加して、みんなでやりたいことをやるというグループなので、自発的な行動で運営されているという感じですね。

大谷さん（以下敬称略） 中原小は、「父親の会」と書いて「おやじの会」と読みます。PTAとは独立しており、今年で16年目を迎えました。当時の校長先生が声をかけて会ができたと聞いています。会員数は40人。在校生のお父さんが参加している他、私たちが「レジェンド」と呼んでいる卒業生のお父さんも4割くらい。「親父の会」は、ボランティア団体登録をしています。会則があるわけではないですが、代表は必ず現役のお父さんで長くても2年交代と決めています。

―お父さん達の会として、どのような活動を行っているのでしょうか？

榊原 例えば学校で人手が足りない時に手伝いに行きます。プール掃除とか、運動会のお手伝いとか。コロナ禍で修学旅行がなくなったかわりに、学校でキャンプファイヤーを企画したり。お父さんたちが自発的に、これやるといいのではないか？を大切にしていて、何かやらなくてはいけないということでは、集まりを起動させていません。

大谷 うちも学校行事のお手伝いが多いですね。運動会等の警備など、力仕事が必要な時に、お父さんたちが駆り出されています。また、学校の建替えがあったので、それに関するイベントを企画しましたね。PTAと学校運営協議会との3団体でなにかするというのも多いです。西東京市には、親父の会のネットワークがありまして、その代表が集まり「おやじの木」という会もできており、この会を通じて、東京都の「子ども遊び推進プロジェクト」に応募し助成金が出たので、規定数のイベントを行う予定でいます。

―最近は全国的にですが、PTA活動が低迷していると聞きます。その中にあって「お父さんの会」はどんな役割を担っているのでしょう。

榊原 PTAについては役員選任問題にしても今は活動が困難な状況にあり、これからPTA活動が再認識されれば、加入世帯も回復していくと思っています。私はPTA会長をしていますが、それぞれの立場は分けつつも、「お父さんの会」は、小回りが利くという意味では大切な存在だと思います。学校からの要請だったり、企画だったりみんな「お父さん」ということで、立場は一緒です。へんに組織化していない分、動きやすいし、頼むほうも話しやすいわけです。

大谷 PTAはどこか、組織運営上に義務感があります。また1年で役員も代わりますよね。親父の会はメンバーが同じですから、何事もツーカーです。地元出身のお父さんもいれば、結婚や子育てのためにこちらに来た人もいる。楽しんでやろうという会なので、自然と人と出会えるし、子どもの顔が見えながら、お父さん同士が繋がっていくというよさがありますよね。

学区を超えて「お父さんの力」で実現した親子防災フェス。ハブとしてのまちにわとの出会い

―そういうお父さんの会だからこそ、「親子防災フェス」というイベントに繋がったのですね。

榊原 自分のところがいいだしっぺですね（笑）。子どもたちが防災知識を学ぶ機会を作りたくて、最初は学校で避難所宿泊体験等考えていました。そこに「ひばリンピック」や「キッズフェス」を通じて、まちにわ ひばりが丘と繋がりができました。まちにわは防災に対して熱心だと知っていたので、ぜひ一緒にやるべきだと。さらにイオンさんが会場を貸してくれることになって、「親子防災フェス」を開きました。

大谷 二つのおやじの会が協働してイベントを行ったのは、「親子防災フェス」が初めてですね。

―そもそも違う地域の違う学校のお父さん会のメンバーがどうやって知り合ったのですか？

榊原 地元でお互いが飲み会をやっているうちに、あそこにいくと中原小のおやじの会の人がいるとか。あの店なら会えるとか。地元の強さですね（笑）

「親子防災フェス@イオン東久留米」当日、スタート前のピリッとした実行委員たち

―お父さんの飲みニケーションの絆があったわけですね。そこに「まちにわ」の存在はどのようなものですか？

大谷 会メンバーとしては、子どもの学校には向き合っているけど、地域にはそこまで関心がない人もいます。そこは強要しないというのが会のモットーなので。ただ会が、学校だけ向いていればいいというのは違うと考えています。地域コミュニティーのハブになっている、まちにわのような団体と情報交換や協力があることで、活動の幅が広がります。それが「防災フェス」だったり、みんなの関心事のイベントの実現化に必要なのだと思います。

榊原 まちにわは特に情報が活発なので、そういうところと連携を取っていかないと、小学生の保護者としては、地域との繋がりが希薄になると思います。そしてPTAやお父さんの会というのは、学校と地域を繋げる役割を持ち、潤滑油でもあります。親子防災フェスの成功も、普段のコミュニケーションの強みがあり、まちにわという団体があって、かみ合って動いた結果だと思います。

―今後の活動について、方向性や目指していることを教えてください。

榊原 まちにわとの関わりなど、地域に目をむけたPTA活動をしていきたいです。まちにわのエリアは、運営側も意識が高いし、参加者たちが町を楽しみながらイベントに参加していると感じました。そういう活発なエネルギーを組織に流したいですね。また小学校での避難所宿泊体験はぜひ実現させたいと思います。

大谷 まちにわのような組織からイベント開催のお話があったとき、親父の会の特性を生かして、よい受け皿になって動いていかれるようにしたいですね。そのためには、他校との交流もすごく大切だと考えています。親父の会が動くことで、もっと簡単に、自分たちも楽しみながら、地域の皆さんともいろいろな活動ができますということを、広めていこうと思います。

スタンプラリーのポイントとなる各ブースは人だかりができるほどの盛況だった。

ÁERUライター

鈴木 暁子
ライター

出版社勤務を経て、都内のコンテンツ制作会社に勤務。フリーランスライターとしては、人物インタビューを主に行っています。今関心があるのは、地域コミュニティーと棚田の再生。また人と人が助け合う暮らしやすい社会活動です。

ちょっとだけ お出かけマップ 滝山編

滝山団地の商店街も歴史があります。昔からの店と新しい店が混ざったワンダーランド。ひばりが丘からは平日なら午後の早い時間帯に直通のバスも出ています（西武バス81番）。運動を兼ねて徒歩でもいけますよ！

新型コロナウィルスの影響について
新型コロナウィルスの影響により、掲載している情報に変更がある可能性があります。お店の営業状況などは、適切な手段にてご確認頂けますようお願い申し上げます。

1 MIDORIYA

たくさんの緑と木のぬくもりが来る人を迎えてくれる。外は屋根がありコリドーのような感じ。長いベンチでほっと一息つく人がいる。とてもやさしい空間だ。東京ジャムの工房でもあり、季節のジャムやクラフト雑貨が並んでいる。ギャラリーとなることもあるコミュニティスペース。静かな空間に古いピアノが。空いているときは弾いて良いそうだ。

東久留米市滝山5-12-20
090-6030-4343
9:30〜16:30　木・日曜日

2 だんごの美好 滝山団地店

商店街を歩いていて行列が見えたら、そこが「だんごの美好」と言えるくらい人の列が絶えない。この地で30年ほど、おいしくて買いやすい値段のお団子や和菓子を作っている。お団子は1本50円から。焼きそばや巻き寿司、おこわ、お惣菜も人気メニュー。近所の人、地域で働く人の強くてやさしい味方だ。

東久留米市滝山5-1-1-3
042-472-0676
7:00〜18:30(なくなり次第終了)
月曜日

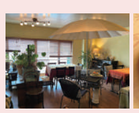
3 メルヘン

店内に入るとおいしそうなパンの匂い。北海道の国産小麦と天然酵母パンは、味も価格も特におすすめ。防腐剤・品質保持剤などの添加物は一切使用せず、安心して食べていただけるパンを作り続けている。昼時は調理パンを求める人が次々と来店する。ブランデーケーキやプリンもおいしいと評判。金曜日はひばりが丘団地に出張して販売している。

東久留米市滝山5-1-16
042-479-4034
10:00〜18:00　日曜日

4 カフェ・ドュ・シプレ

タルトやキッシュ、クッキーなど焼き菓子を良い材料にこだわって手作りしている。店内には焼きあがるお菓子の幸せな匂いがひろがる。プロバンス風インテリア。懐かしさを感じる調度を見るだけでも日常の慌ただしさを忘れる。毎週火曜日はランチの提供をしている。11:00〜14:00、多彩なメニューがある。贅沢なひと時が過ごせそうだ。



東久留米市滝山5-1-18ソシアルビル3F
☎042-420-4609
10：00〜16：00　土・日・月曜日

5 東京コーヒーロースタリーカフェ

滝山中央名店会、丸いベンチのある通りの中ほどにある。入り口にはテラス席、店内は広々とした空間。開放感いっぱいの屋上席もある。その名の通り焙煎工房とカフェ。作業スペースからはふくよかな香りが漂ってくる。古い建物を活かした温もりのある場所、ナチュラルな素材で手作りされた食べ物、おいしいコーヒー。ついつい長く居てしまう。

東久留米市滝山4-1-40
042-420-1145
9:00〜18:30　なし

6 シャルキュトゥリー モエ 東久留米店

オリーブの木が目印。ヨーロッパにはこんなお店があるのかな？と想像がふくらむ。フランスで修行した店主が本場の食肉加工を伝えてくれる店。ハム、ソーセージ以外にも、パテ、コンビーフなどたくさんの種類があることがわかる。おいしさに惹かれてまた来たくなる。「この味をぜひ贈りたい」と進物にするお客さんも多いそうだ。

東久留米市滝山7-17-24-103
042-474-9250
11:00〜19:00　月・火曜日